

2021 ROTAX MAX Festival フェスティカサーキット瑞浪 大会特別規則書



本競技会は、一般社団法人『日本自動車連盟』(以下「JAF」という)の公認のもとに、FIA国際モータースポーツ競技規則/国際カート規則および、その付則に準拠したJAF国内競技規則/JAF国内カート競技規則およびその付則、2021年(以下「当該年」という)ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 MAX、Micro MAX、MINI MAX、と2021年本競技会特別規則に従って開催されます。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 競技会の名称

2021 ROTAX MAX Festival

※以下、MAX Festival と表示します

第2条 競技種目

第1種競技車両によるスプリントレース

第3条 競技会のクラス区分と格式

・クローズド格式 : Micro MAX

Mini MAX

Junior MAX

MAX Masters

Senior MAX

第4条 開催日程

2020年10月2日(土)~10月3日(日) 2DAY開催

第5条 開催場所

フェスティカサーキット瑞浪【全長1,177m、最大直線長145m】

〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町足股 1064-118

TEL:0572-63-3178 FAX:0572-63-3179

第6条 オーガナイザーの名称と大会事務局・所在地

主催および大会事務局 フェスティカサーキット瑞浪
〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町足股 1064-118
TEL :0572-63-3178 FAX :0572-63-3179
E-mail : mizunami.staff@gmail.com

共催 株式会社 栄光

〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口 1-1709
TEL :052-803-7055 FAX :052-803-7085
E-mail : mail@eikoms.com

第7条 競技会組織委員会および審査委員会

大会公式プログラムにてご案内いたします。

第8条 競技会競技役員

大会公式プログラムにてご案内いたします。

第9条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する告知等、本規則発表後に生じた必要事項は、公式通知またはインフォメーション、アナウンスにて、迅速にご案内いたします。

第10条 大会の延期、中止または取り止め、および変更に関する事項

「JAF国内競技規則、カート競技会組織に関する規定」に基づき、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができます。大会の全部を中止、あるいは24時間以上延期する場合は、参加料は全額返還されます。

ただし、保険料は返還されません。なお、エントラントおよびドライバーは、これによって生じる損失について、主催者に抗議する権利を保有しません。さらに、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとします。

第11条 競技会参加に関する事項

1) 受付期間

2021年8月2日(月)～ 2021年9月5日(日)

※受付は web エントリーのみ

2) 締切日を過ぎてからのレースエントリーは、期間外エントリーとして事務手数料 **3,000円**をいただきます。ご了承ください。

3) **Web エントリー 専用ページから、お申し込みください！**

フェスティカサーキット瑞浪のホームページのトップメニュー“WEB エントリー”より、エントリー要項の入力をお願いします。

参加要項を確認し必要事項すべてを必ず入力のうえ、本エントリー料金をレース前に必ず決済してください。また、レース当日のご精算は出来ません。会員の方は、ナンバーを必ず記入してください。会員期限が切れていると入力できません。

【決済方法】1と2より、ご希望の決済方法が選択できます。

1、クレジットカード決済

2、コンビニ決済

※必ず確定した合計金額をご確認し決済してください。

決済が完了し、本エントリー終了になります。(2重支払いにご注意ください)

※決済が完了しない場合参加受理は認められません。

【申込時の注意事項】

注1) 決済にかかる手数料がある場合、費用は参加者の方でご負担をお願いいたします。

注2) 本エントリーページ内にある、参加誓約書をプリントアウトし、ドライバーが20未満の場合、親権者または保護者、ピットクルーの署名をし、レース参加受付時に必ず持参ください。

注3) 記載の決済方法以外は受け付けておりませんのでご了承ください。

注4) **WEB エントリー後のキャンセルは、事務手数料10%差し引いた分を返金させていただきます。** ※事務手数料は、経済情勢によって変動しますのでご了承ください。

参加受付に関するお問い合わせ

【MAX Festival 大会事務局】 フェスティカサーキット瑞浪 担当 河野
〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町足股 1064-118
TEL :0572-63-3178 FAX :0572-63-3179
E-mail : mizunami.staff@gmail.com

第12条 MAX Festival の参加定員

- 1) Micro MAX クラスは、34台でエントリーを締め切ります。
- 2) MINI MAX クラスは、34台でエントリーを締め切ります。
- 3) Junior MAX クラスは、最大51台とします。
- 4) MAX Masters クラスは、最大68台とします。
- 5) Senior MAX クラスは、最大68台とします。

注1)各クラス、予選、決勝のフルグリッド台数は34台とします。

注2)MAX Masters クラスは、カートライセンス条件付ドライバーと通常競技ライセンス保有者が混走となります。 ※JAF申請認可のもと開催

注3)MAX Masters クラスの、カートライセンス条件付ドライバーが使用する車両は、ハンドアクセルとハンドブレーキが搭載されたリブレ車両となります。

注4)MAX Masters クラスにおいては、通常のコース安全対策とは違ったサポートを導入実施します。
また競技に関する注意事項を参加者全員に告知し、了承していただいた上で競技を開催いたします。

注5)MAX Masters クラスは、カートライセンス条件付ドライバーを明確に判断するために車両ゼッケンを3桁にします。

注6)その他の処置または対応に関しては、公式通知に示されます。

第13条 MAX Festival の参加資格

1)ドライバー資格

【 Micro MAX 】 当該年度： 小学1年生～中学1年生
SLライセンスカデットまたはB以上 JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上

※小学1年生で参加する場合、主催者が認めた実績かつ技術のあるドライバーに限られます。この場合、親権者の傷害事故に関する承諾も必要になります。
公認のライセンスを持たないため、主催者が認めたライセンス可とします。

【 Mini MAX 】 当該年度： 小学4年生～中学2年生
SLライセンスカデットまたはB以上、JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上、または主催者が認めたライセンス保有者

【 Junior MAX 】 当該年度： 小学6年生～17歳
SLライセンス SL-B 以上、JAF カート国内ジュニア B ライセンス、または主催者が認めたライセンス保有者

【 MAX Masters 】 当該年度： 25歳以上
SLライセンス SL-B 以上、JAF カート国内 B ライセンス以上または、JAF カート国内ライセンス条件付き以上、または主催者が認めたライセンス保有者

【 Senior MAX 】 当該年度： 14歳以上
SLライセンス SL-B 以上、JAF カート国内ジュニア B ライセンス、または主催者が認めたライセンス保有者

2)ピットクルー登録

全クラス16歳以上とし、ドライバー1名につき2名まで登録可能とします。

第14条 レース参加に必要なものと傷害保険への加入義務

- 1) 出場クラスに適合したライセンスまたは主催者が認めた証明が必要になります
- 2) 競技会参加に関する誓約書

3) 当該年度有効なSL安全保険加ナンバー、または、他の傷害保険加入会社を Web エントリー時に入力し、かつ、保険証はコピー持参してください

4) 当該年度有効な競技規則書を所持していなければなりません。
競技当日は必ず持参してください

5) ピットクルー・メカニックの方も傷害保険加入を推奨いたします

※SLライセンスがない方でも、SL スポーツ安全保険に加入することができます。
ただし、会員外料金となります

「スポーツ安全保険」とは財団法人スポーツ安全協会が、東京海上日動火災株式会社を幹事会社とする損害保険会社 10 社との間に、傷害保険を一括契約する補償制度です。

第15条 ピットクルー等のピットエリア入場規定

ピットクルー、メカニック作業員、エントラント等に配布していたクレデンシャルカードを廃止します。

当該競技のサポートに入る前、アナウンスにて入場をコントロールします。

ダミーグリッド、作業エリア、コースは危険な場所です。

ピットクルー、メカニック作業員、エントラントにおいては、施設内での事故等による傷害は、理由にかかわらず自己責任となります。ただし、施設の不備は除きます。施設内のルールを守っていただき、すべての方が危険な場所で作業していることをご理解ください。

第16条 参加受理と参加拒否、誓約書への署名

- 1) 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されます。
- 2) 参加を拒否された申込者に対しては、事務手数料10%を差し引いた金額が返還されます。
- 3) 参加を受理後、参加を取り消す申込者に対しての参加料は返金されません。
- 4) エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければなりません。

第17条 MAX Festival の参加料金

エントリーフィーにはピットクルー1名分の登録料が含まれ、各クラス以下の通りとします。

【 Micro / Mini クラス 】

・フェスティカ 会員 27,000円[税込]

※代金にはピットクルー1名の費用が含まれています。

レンタルポンダー使用の場合はプラス¥1,000かかります。

・フェスティカ 非会員 28,000円[税込]

※代金にはピットクルー1名の費用が含まれています。

レンタルポンダー使用の場合はプラス¥1,000かかります。

【 Junior / Masters / Senior クラス 】

・フェスティカ 会員 27,000円[税込]

※代金にはピットクルー1名の費用が含まれています。

レンタルポンダー使用の場合はプラス¥1,000かかります。

・フェスティカ 非会員 28,000円[税込]

※代金にはピットクルー1名の費用が含まれています。

レンタルポンダー使用の場合はプラス¥1,000かかります。

【追加ピットクルー (B メカニック)】 登録料 : 1名様分 1,000円[税込]

第18条 参加受理と参加拒否、誓約書への署名

- 1) 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されます。
- 2) 参加を拒否された申込者に対しては、事務手数料10%を差し引いた金額が返還されます。
- 3) 参加を受理後、参加を取り消す申込者に対しての参加料は返金されません。
- 4) エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名しなければなりません。

第2章 競技に関する事項

第19条 参加車両

2021年 JAF国内カート競技車両規定および、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2021および、ROTAX MAX CHALLENGE Technical Regulations 2021と、2021年 ROTAX MAX Festival瑞浪特別規則の車両規定に従って開催されます。

第20条 自動計測装置「トランスポンダー」

1)参加ドライバーは、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置(トランスポンダー)を使用することとします。

トランスポンダーは競技終了後すみやかに返却してください。万が一破損、紛失した場合、1個につき**55,000円(税込)**をオーガナイザーまたは、計測器所有者へ支払っていただきます。

※高価な計測装置につき、ご理解いただきますようお願いいたします

2) 貸し出した自動計測器(トランスポンダー)に計測不良がおきた場合、レース中の交換可能な時間を判断し別な自動計測器(トランスポンダー)に交換します。その場合もゼッケン番号に変更はありません。

3)自動計測器(トランスポンダー)の配布は選手受付時におこないます。また、貸出した自動計測器(トランスポンダー)のは、決勝ヒート終了後にパルクフェルメで回収します。 ※マイホルダーの方は機器のみ返却してください

4)参加者は、主催者が用意する自動計測装置(トランスポンダー)の代わりに、自身で所有するMYLAPS製TranX160・TranX260・TranX PRO・FLEX・X2 DP-Kart・TR2-Kart(通称マイポンドラー)を使用することができます。また、使用する際は以下の項目を厳守してください。

(1)使用申請については、レースエントリー時にマイポンドラーシリアルNo.を正確に記入し申請してください。

(2)マイポンドラーは所有者以外の使用はできません。他人との共用も認められません。

(3)マイポンドラーが正常に作動していないと、計時長(委員長)が判断し、競技役員により指示された場合は、直ちに主催者の用意する自動計測装置(トランスポンダー)に交換することがあります。

(4)マイポンドラーを使用する際は、充電、製品管理は自己責任となり、それに伴う計測トラブルに関しては全て参加者の責任となります。計測不良によってタイム計測が出来なかった場合、リザルトにタイムは表示されずタイムトライアルの時はノータイムとなります。

第21条 車載カメラについて

車載カメラを取り付ける場合、撮影した画像はあくまでも個人が楽しむものであると同時に、主催者側から車載カメラ映像を競技判定資料として、提出していただく場合がございます。

この場合、主催者側が画像を確認できた場合のみ撮影画像を判定資料とします。

【注意】

カメラ本体は、ボルト、ナット(推奨 M5mm 以上)等でしっかり固定しゼッケンナンバースペースを隠さず、安易に脱落しないように強固に固定をお願いします。

競技中の脱落があった場合ペナルティの対象となります。

また、特殊な小さいカメラを取り付ける場合、事前に主催者までご確認をお願いします。不備があった場合取り外しをお願いする場合があります。

『車載カメラ規定』

- 1、車載カメラ装着申請書を事務局に提出せず競技に参加した場合、当該ヒート失格
- 2、競技中、取り付けの不具合により車載カメラが脱落した場合、当該ヒート失格
- 3、指定外箇所へ車載カメラを装着した場合、審議または警告
- 4、事故等によって車載カメラが脱落した場合、審議対象

第22条 競技番号の指定(ゼッケン)

カート車両の前後およびサイドボックス両側に取り付けることとします。

※ベースサイズ 縦17cm 以上、数字 縦15cm 以上

選手各自でご準備ください。既製品や自己作成可とします。

1) 全クラス:黄色ベースに黒文字とし、数字の形に制限はありませんが、見やすいものとします。

2)各クラスとも、2021ROTAX MAX Challenge JAPAN シリーズの9月5日時点でのランキング(MAX Festival エントリー締切時点)を基準に、主催者がゼッケンを指定いたします。

3)各クラスに欠員が出た場合、一度決めたゼッケンを変更する場合があります。また欠員のいるレースクラスでは、連番とならないことがあります。

4)各クラスのゼッケンは、1番から99番の範囲といたします。
※MAX Masters クラスのみ、条件付きドライバーは3ケタの番号となります。
また欠員のいる場合のレースでは連番とならないことがあります。

第23条 ブリーフィング【ドライバーズブリーフィング】

参加ドライバーおよびエントラントは、必ずドライバーズブリーフィングに参加しなくてはなりません。**ブリーフィングに参加しない場合は、ペナルティの対象となります。**

※事前にエントラントミーティングを実施する場合があります

状況により、事前にエントラント代表者にお集まりいただく「**エントラントミーティング**」を実施する場合があります。

エントラント代表者が「**エントラントミーティング**」に参加しない場合は、**ペナルティの対象となる**のでご注意ください。

注)エントラントミーティングを実施する場合は場内アナウンスにて発表いたします。

第24条 ダミーグリッド関連

参加ドライバーはタイムスケジュールに準じ、指定のダミーグリッドにて出走準備をしなくてはなりません。ダミーグリッドに整列した後は、メカニック作業は禁止され、部品の交換、給油、ケミカル用品の使用等も禁止されます。
これに違反した場合、出走を取り消されその競技に参加することは出来ません。

【ダミーグリッドの場所】

1)公式練習、タイムトライアル、予選、プレファイナル時は、1コーナー進入口手前のパドックスペース付近に設置します

2)決勝ヒート時は、ホームストレート上をスターティンググリッドとして使用します。
※タイムスケジュールが大幅に遅れた場合は、ダミーグリッドからのスタートになる場合があります。

【注意事項】

ダミーグリッドに入った後、工具を使った作業をする場合は進行委員または技術委員にその旨を説明し、指定された場所でのみ作業が認められます。

※急激な天候変化の場合、ダミーグリッドでタイヤ交換を認める場合があります。

第25条 エンジン暖気

パドック内ではエンジンの始動チェックのみが行えます。

パドック内でのエンジンの暖気運転、カラ吹かしは禁止されています。

エンジンを暖気運転する場合、指定の暖気エリアにて競技委員指示のもと、暖気運転やカラ吹かしを行えます。

エンジン暖気に関する違反はペナルティの対象となります。

注)大会期間中エンジンに不具合が生じた場合は、車検へ申告の上、車検スタッフ及び車検長が任命したスタッフ立ち合いの元、指定された場所でのエンジンの始動確認を許可します。

(申告者が重複した場合は、始動確認許可を出さない場合があります)

第26条 MAX Festival のレース方式

レースは、タイムトライアル、**予選ヒート(複数のヒート、又は複数のグループによる総当たり戦で実施・クラスごとに異なります)**、プレファイナルヒート、決勝ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。レース方式の詳細や、周回数等の変更がある場合は、公式通知で発表します。

※天候急変やアクシデント等の諸事情で、各クラスのスタート順や周回数を変更す

る場合があります。公式のタイムスケジュールが大幅に変更になる場合、公式通知で発表します。

第27条 公式練習

「JAF国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章第23条」に基づき公式練習を行います。すべてのドライバーは公式練習に参加しなければなりません。またピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認められます。ピットインおよびピットエリア作業は認められません。

【公式練習からの流れ】

各クラス公式練習を4分間行い、その後続けてタイムトライアル計測を行います。コース上にカートが出られない場合は公式練習参加義務違反として、ペナルティの対象となります。

ただし、コースに入ろうとしたが車両やエンジンの不具合によって出走できず、そのまま公式練習が終わった場合でも出走扱いとします。

タイム計測開始と同時に、ホームストレートと最終コーナー側のピットイン入口付近で「計測中」ボードが表示されます。計測開始時にピットエリアにいるドライバーは時間内であればコースイン出来ますが、再ピットイン後の再出走は認められません。

※公式練習に参加する意思がない場合は、レース除外となります。

※交通事情等によって公式練習時間に到着出来なかった場合、事前に連絡があった場合に限り大会事務局に遅延理由書を提出し競技参加が認められる場合があります。ただし、タイムトライアル出走前までとなり大会審査委員会の許可が必要となります。

第28条 タイムトライアル

- 1) すべてのドライバーは、公式通知に記載された時間内で、タイムトライアルに参加しなければなりません。
タイムトライアルに参加しない場合はノータイムとなり、予選ヒートは最後尾スタートとなります。

2) Micro / Mini クラス(参加台数34台までのクラス)は、組み分けをせず当該クラス全車が同時にタイムトライアルを行います。

Junior / Masters / Senior クラス(参加台数が34台を超えたクラス)は、奇数ゼッケン・偶数ゼッケンの2組に分かれてタイムトライアルを行います。またスタート順は奇数ゼッケン組を先とします。

その他の方法で行う場合には、公式通知にてご案内します。

- 3) タイムトライアルは以下の方法で行います。

【タイムトライアル 3分間 計測】

公式練習とタイムトライアルを連続してセッションを行います。

公式練習終了後、続けて3分間のタイムトライアル計測を行い、その時間内でのベストタイムを成績とします。

※公式練習終了後と同時に、メインポストにて計測中ボードが提示され、タイムトライアルが開始されます。ピットインした場合、競技終了となります。

- 4) 時間内であればドライバーは自由にコースインすることができ、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができますが、ピットロードに進入したカートはタイムトライアル終了となります。再コースインは出来ません。

- 5) 計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して、全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用します。

- ①義務周回数は定めません。
- ②記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用します。更に同タイムとなった場合は、ベストサードラップで決定いたします。
- ③計測が出来なかった車両についてはノータイムとし、最後尾グリッドよりスタートとなります。複数台の車両がある場合はゼッケン順に配列されます。
- ④タイムトライアルが何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムトライアルを再開します。再タイムトライアルの時間は、大会審査委員会が変更する場合があります。

6) タイムトライアル中、計測機トラブルによってラップタイムが計測できない事態がおきた時、計時による手計測のタイムデータまたは、参加者自身のカートに搭載されているデータロガーのタイムを採用する場合があります。

7) その他の方法でタイムトライアル行う場合は公式通知に示されます。

8) フロントフェアリングの正しい装着状態確認は、タイムトライアル後の車検で実施し、不具合がある場合は、第8章 第68条に準じて判断します。

第29条 MAX Festival 予選ヒート方式

1) 予選ヒートの周回数（予定）

クラス	周回数
Micro MAX	7 周
Mini MAX	7 周
Junior MAX	8 周
MAX Masters	7 周
Senior MAX,	8 周

2) Micro MAX / Mini MAX クラス(予選落ちなし)

複数回のヒートにて予選を実施

予選ヒートは3回実施、各ヒートのグリッドは次の様に決定します。

【予選ヒートのグリッド決定方法】

予選ヒート1 … タイムトライアルの結果順

予選ヒート2 … 予選ヒート1でのベストタイム順

予選ヒート3 … 予選ヒート2でのベストタイム順

【グリッド決定の優先順位】

a. そのヒートを完走し、車検を通過しているドライバー

b. そのヒートを未完走(DNF)で、車検を通過しているドライバー

c. そのヒートをスタート出来なかったドライバー(DNS)

d. そのヒートを失格となったドライバー(DQ)

e. そのヒート後、エンジン交換、フレーム交換を行ったドライバー

例1) 予選ヒート1でペナルティを受けた場合

予選ヒート1でペナルティを受けた場合(タイム加算ペナルティやグリッドダウンペナルティ等)は、予選ヒート2のグリッドは、ベストタイム順から一律3グリッドダウンとなります。

例2) 予選ヒート2で失格となった場合

グリッド決定優先順位より、d. の位置になります。

複数の失格ドライバーがいる場合は、予選ヒート1のグリッド順を優先します。

4) Junior / Masters / Senior クラス(予選落ちあり)

奇数ゼッケン、偶数ゼッケンに分かれてタイムトライアル実施後、各組の中でA~Dのグループ分けを決定、総当たり戦を実施します。

奇数ゼッケン組と偶数ゼッケン組のタイムトライアルの結果、最速タイムを出した組が、A x Cグループ、もう一方をB x Dグループとします。

最速タイムを出した組の奇数順位をAグループ、偶数順位をCグループ、もう一方の組の奇数順位をBグループ、偶数順位をDグループとします。

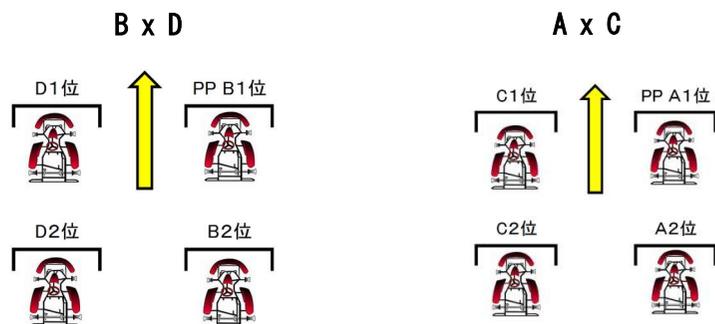
※奇数ゼッケン組と偶数ゼッケン組のタイム差が**101%を超えない場合**でも、グリッド決定の方法は変わりません。

T T 成績	最速タイムを出した組	もう1方の組
1位	A	B
2位	C	D
3位	A	B
4位	C	D

【グループ戦予選ヒートのスタート順とグリッド】

$B \times D \Rightarrow A \times C \Rightarrow B \times C \Rightarrow A \times D \Rightarrow C \times D \Rightarrow A \times B$

【各グループのグリッド例】



【予選通過基準について】

(1)各グループ戦で得た予選ヒートポイントの合計成績上位から28位までが予選通過となります。29位以下のドライバーはセカンドチャンスヒートへ進みます。

(2)セカンドチャンスヒートについて

予選ヒートポイントの合計成績29位以下のドライバーでセカンドチャンスヒートを行います。セカンドチャンスヒートでの上位6名が予選通過となり、プレファイナルヒート、決勝ヒートへ進みます。セカンドチャンスヒートで7位以下のドライバーは予選落ちとなります。

(3)セカンドチャンスヒート周回数

クラス	周回数
Junior MAX	7周
MAX Masters	7周
Senior MAX,	7周

第30条 MAX Festival 予選ヒートポイントおよびプレファイナルヒートポイント

各ヒートポイントは、表の数字で集計をおこないます。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	0	13	13	25	25
2	2	14	14	26	26
3	3	15	15	27	27
4	4	16	16	28	28
5	5	17	17	29	29
6	6	18	18	30	30
7	7	19	19	31	31
8	8	20	20	32	32
9	9	21	21	33	33
10	10	22	22	34	34
11	11	23	23		
12	12	24	24		

※1位の場合は0ポイントです。0点に近い数字の選手から成績上位になります。

- ペナルティ行為があつて順位が降格した場合、降格した順位のポイントを付保します。
- 当該ヒートDNFのドライバーは周回数通りの着順とし、その順位通りのポイントとします。
- 当該ヒートDNSのドライバーは、ヒートグリッド台数に+1ポイントが加算されます。
- ヒート失格の場合、ヒートグリッド台数に+5ポイントが加算されます。
- 各ヒートポイントのグリッド台数基準

総当たり戦の場合⇒ 最も台数の多いヒートのグリッド台数

複数予選ヒート戦の場合⇒ ヒート1のグリッド台数

- 6) 予選ヒート獲得ポイント数が同じ場合、タイムトライアルの上位タイム成績を優先します。
- 7) 各グループ戦で得た予選ヒートポイントの合計成績上位から通過ドライバーを決定します。35位以下のドライバーは予選落ちとなります。

第31条 MAX Festival のプレファイナルヒート

1) グリッド

Micro / Mini クラス・・・3回の予選ヒートポイントの合計で決定されます。
Junior / Masters / Senior クラス・・・総当たりの予選ヒートポイントの合計で決定されます。

2) プレファイナルの周回数（予定）

クラス	周回数
Micro MAX	10 周
Mini MAX	10 周
Junior MAX	15 周
MAX Masters	12 周
Senior MAX,	15 周

第32条 MAX Festival の決勝ヒート

- 1) 決勝ヒートのグリッドは、すべての予選ヒートポイントおよびプレファイナルポイントを合算し、少ないポイント順に決勝ヒートのグリッドを決定します。

2) 決勝ヒートの周回数（予定）

クラス	周回数
Micro MAX	15周
Mini MAX	15周
Junior MAX	20周
MAX Masters	18周
Senior MAX	23周

- 3) 各クラスの暫定優勝ドライバーは、ウイニングランをおこなう場合があります。
- 4) 決勝で同着の場合は、その順位を各対象者に与えます。
例; 2着が2名いた場合 ⇒ 1位、2位、2位、4位…
- 5) 決勝レースに参加出来ない場合、その時点でレース終了となりますが、予選ヒートポイントで獲得したグリッドは空席となってローリング隊列が形成進行されます。ただし、スタート前にリタイア届が出ている場合、その空いたグリッドを詰めて、再度グリッド編成をする場合があります。

第33条 スタート

- 1) 全クラス、スタート方式はローリング(2列の隊列)スタートとします。公式練習、タイムトライアル、予選またはプレファイナルはダミーグリッドからコースインとなります。決勝ヒートは、合図が出てからコース内に侵入し、進行方法に向かって指示された場所を先頭に隊列を並べます。また、車両をグリッドに置いたあとはコース内からカートスタンドを速やかにピットエリアに移動してください。サポートとしてコース内に残れるのは登録ピットクルーのみとなります。
- (1) ダミーグリッドからのスタート時、エンジントラブル等によりスタート出来ないと判断したら、ただちにダミーグリッドへ引き返してください。
- (2) 決勝ヒートはホームストレートからスタートの為、(1)と同様にスタート出来ない場合は、1 コーナーからダミーグリッドへ入ってください。(1)、(2)いずれも再スタートは認められますが、6)と13)の対象になります。

- 2) ダミーグリッドからコースインする場合、スタートの補助は1コーナー両側に置かれたパイロンとパイロンを直線で結んだラインまでとします。

- 3) フォーメーションラップを1周後、ローリングラップで隊列を整えスタートします。ただし、レース進行が大幅に遅れた場合はローリングラップのみ1周行いスタートする場合があります。また、外気温度が著しく低く暖気走行が必要な場合や新品タイヤの装着で危険が

予測される場合など競技長が必要と判断した場合はフォーメーションラップの周回を増やす場合があります。

4)フォーメーションラップ開始後、スタート信号灯にレッドライトが点灯されます。

5)ローリングラップ中のドライバーは低速走行しポールポジションとセカンドポジションのドライバーはローリングラップのペースを保ち、隊列を整えながらホームストレートへ向かいます。

6)ローリングラップ中に、隊列から大きく遅れたと判断されたドライバーに対し、白地に赤×(バッテン)ボードが提示され、そのドライバーは隊列の最後尾に着かなくてはなりません。 ※ミススタートとなった場合も解消されません。

また、ローリングラップ中にストップしてしまった車両は確実に全車通過、安全に自力で再スタートできた場合に限り隊列の最後尾につくことができます。

ただし、危険地帯での停止等の場合、オフィシャルが手を貸しコースをクリアにする場合があります。この場合の再スタート判断は競技長が決定し場合によっては審議対象になる場合があります。

また、ローリング隊列に遅れたドライバーはコース内でスピード調整をして隊列の前からペースを落とし自分のグリッドに戻ることはできません。

前方から戻った場合は、ドライバーに黒旗が振られ当該ヒート失格となります。

7)ローリングラップ中のポジション復帰禁止区間は、11コーナー進入の両側に引かれた赤い線上からコントロールラインまでとなります。(左右に設置してある赤いパイロンが目印) この区間中にポジション復帰のため追い越しをするとペナルティとなります。復帰違反の場合は、ドライバーに黒旗が振られ当該ヒート失格となります。

8)不出走、白地に赤×でいなくなったポジション、ローリング中に停止したカートがいたポジションと、空席となったグリッドは他のカートによって詰めてはならず、スタート合図が出されるまで空席が維持されなければなりません。

9)ローリング隊列の先頭グループは、スタートラインの25m 手前に引かれたイエローラインを通過するまで加速を禁止します。先頭グループは、後続の隊列を乱さないよ

うにスピードを調整しなくてはなりません。

これに違反した場合はペナルティが課せられます。

たとえポールポジションでも、急加速によって隊列を乱す行為は、ペナルティとなります。すべての車両は隊列を守り、隊列を乱す行為はペナルティの対象となります。選手は隊列のスピードとポジションを守り、安全にスタート出来るよう心がけなくてはなりません。

※自身のカートが不調に陥り加速出来ない状態になり、隊列内にいると危険判断した場合、必ずドライバーサインで周りに知らせ、隊列外へ外れてください。

また以下の行為により赤旗によって競技が中断された場合、赤旗中断後の再スタート時のグリッドは最後尾とします。

※対象ドライバーが複数の場合、成績順に最高尾から並び直す処置を行います。

【グリッド最後尾になるような行為】

ローリングラップ中の隊列を著しく乱す走行、追突を招くような急減速な危険運転、ポジションを守れない走行等によってスタートを遅延させた場合。

【ヒート失格になるような行為】

ローリングラップ走行中、悪質な走行や多重クラッシュを招くような行為によって競技を継続できないような事故原因を発生させ、競技を中断させた場合。

10)2列隊列がスタートライン手前25m ラインを過ぎ、隊列が整ったと競技長が判断した場合、レッドライトを消灯してスタート合図を行います。

『レッドライト消灯と同じタイミングで、ピットエリアにスタートを知らせるため日章旗をメイン(センター)ポストで振ります』

スタート合図が出れば、2列のコリドー白線をカットしても問題ありません。

ただしスタートの合図が出る前に、コリドー白線からタイヤがはみ出したり、隣のカートと接触するような行為をした場合は積極的な白黒旗が提示され、ペナルティの対象となります。

ペナルティの内容は、2021ペナルティカタログを参照してください。

11)『スタートディレイ』;隊列の間隔やスピードが思わしくないと判断され、スタートができずローリングラップをさらに1周行う場合には、レッドライトの点灯を続けます。このときドライバーは手を上げ、もう1週の合図を出し、再び、スタートの合図

が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。
これに違反した場合はペナルティの対象となります。

- 12) 『ミススタート』: スタートを一旦切ったが、そのスタートに何らかの疑似が生じた場合、4コーナーポストにてミススタートフラッグが提示されます。
隊列はスタートを仕切りなおすため、再度ローリング隊列を整え速度を調整しながら再スタートに向け走行します。このときドライバーは手を上げ、【もう1周】の合図を出し、再び、スタートの合図が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。これに違反した場合はペナルティの対象となります。
- 13) ローリング(隊列)ラップ中の先頭車両が、11コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンとパイロンを直線で結んだラインに差しかかった時点で、ダミーグリッド、ピットエリアからの出走はできません。

第34条 その他競技に関する注意事項

- 1) ドライバーは、危険回避義務があることを十分に理解しなければなりません。
- 2) 停止車両がドライバー自身によって、再スタートならびに車両移動ができないと判断された場合、オフィシャルの手によって安全な場所に車両を移動する場合があります。
この場合、通常はレースリタイアとなり当該ヒート競技が終了します。
また、危険地帯での停止や多重クラッシュによる車両の重なり等をオフィシャルが手を貸し救済補助する場合があります。このあとレースに一旦戻れたとしても、安全を優先し補助したので競技委員の判断により排除される場合があります。
基本原則として、公式練習、タイムトライアルおよびレース中にスピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できるものとします。
復帰するための最小限の方向転換は認められます。

※Mini クラス以下の場合、カートを降りた時点で即レース終了という裁定もありますが、緊急の場合救助を優先いたします。
オフィシャルが手を貸したことによって、即リタイアというのではなく、安全を第一に考えて危険箇所から避難させるためだけに補助する場合があります。

通常はカートを降りるか、オフィシャルによってカートを移動させられた時点で当該ヒート競技終了となります。

- 3) ピットインする場合はピットロードを必ず徐行しなければなりません。
徐行を怠った場合や危険な走行はペナルティを課せられる場合があります。
また、ピットインした場合はいかなる理由であっても必ずピットエリア内でストップし、エンジンを停止しなければなりません。その後、再スタートは認められます。
ただし、ピットエリア外やパドックおよびパルクフェルメに入った場合はレースリタイアとなります。
- 4) ピットサインが出せる場所は、指定されたサインエリアのみとします。
ピットサインエリア外でサインを出す行為をするとペナルティの対象となります。
また、ローリングの隊列がコースインしたときから、隊列がスタートを切って1コーナーを過ぎるまで、サインエリアへの立ち入りは禁止とします。
指定のピットサインエリアに関しては公式通知にて発表いたします。
- 5) ショートカットはオフィシャルの指示がない限り禁止となります。ショートカットをした場合、ペナルティの対象とします。ショートカットについての解釈は、走路でない場所を走行したドライバーが、その行為により有利になる状態が発生した場合を示します。
- 6) 悪天候やレース進行上のトラブルによりクラス出走順を入れ替える場合があります。また赤旗によりレース中断した場合も同様の措置をとる場合があります。
- 7) タイムスケジュールの基準時計をコースに設置します。
各ヒートのスタート定刻までにダミーグリッドに來ていないカートがいたとしても、時間通りにコースインとします。
公式のタイムスケジュールが早まった場合や遅れている場合に関しては、アナウンスでスタート時間をお知らせします。

第35条 ドライバーの装備品

1)レーシングスーツとフルフェイスヘルメット

レーシングスーツはCIK/FIA(FMK)公認またはJAF公認のレーシングスーツ着用が義務付けられます。

※装備品は、SLカートミーティングクラスやイベントクラスで過去に公認実績があれば使用できます。ただし、汚れ、ほつれ、穴の開いてない清潔なものとし、ヘルメットは規格公認品を使用し、保護の役割を果たさないと判断した場合や著しく損傷しているものは使用不可とします。
また、使用年数が10年を越えるものも使用できません。

2)CIK公認ジュニア用ヘルメットの装着について

15歳以下のドライバーに対し、CIK公認ジュニア用ヘルメット装着を推奨します。

3)捨てバイザーの使用は認められますが、コース上に投げ捨てることは一切禁止とします。投げ捨てた場合はペナルティとなります。

また走行中に、シールドや捨てバイザーが外れかけている場合でも、オフィシャルが危険と判断した場合は、オレンジボールの対象となりますので、ご注意ください

4)Micro / Mini クラスのドライバーに対しネックガード、プロテクターを必備とします。

第36条 信号旗

「JAF国内カート競技規則」カート競技会運営に関する規定第3章に従ってください。競技旗や白地に赤バツテンのボード、その他の合図は基本ホームストレートのメインポストにて、ホームストレート側、バックストレート側で提示します。
その他の競技旗は、各コーナーポストで競技委員が提示します。
それ以外の方法を取り入れる場合は、公式通知で発表します。

1)『白地に赤バツテンのボード』

ローリング隊列から大きく遅れたと判断され、白地に赤バツテンボードが提示されたドライバーは最後尾に着かなければなりません。
対象ドライバーは、スタートが切られるまで最後尾を維持します。

2)『緑旗』

- (1)ダミーグリッドからのスタート合図は緑旗(グリーンフラッグ)を用います。
- (2)イエローフラッグ(追い越し禁止)解除に用います。
イエローフラッグ提示ポストから、追い越し禁止解除ポストで、グリーンフラッグを提示します。

3)『白黒旗』

以下の場合、対象ドライバーに対し積極的に白黒旗が提示されます。

- (1)ローリングスピード落とさないドライバー
- (2)ローリング隊列の自己ポジションを無視して乱すドライバー
- (3)走行マナーが悪く、非スポーツマン的の行為をして競技を乱すドライバー
- (4)スタート後に、同じドライバーが白黒旗の対象になるような行為を重複して行なった場合そのヒートで白黒旗累積2回になり黒旗が提示され失格となります。
※白黒旗は、その他のヒートには累積されません。

4)『青/赤旗』の使用は、Junior / Masters / Senior クラスの決勝ヒートにおいて、周回遅れおよび周回遅れになろうとしているドライバーに対して、青/赤旗と一緒にゼッケンナンバーが提示されます。

青/赤旗は競技長の指示によりメインポストで振られ、提示されたドライバーは迅速にピットインしレースを止めなければなりません。
ピットインしない場合、黒旗(レースを止め競技長ところへ出向)の対象となります。

5)『オレンジボール旗』

競技中に、車両装備品の脱落や不具合発生またはドライバーの安全装備品に不具合やその装備品に脱落が発生した場合などに対し、ピットエリアに戻りその箇所を修復し、競技に戻りなさいという状況で運用します。
修復出来ない場合、ピットエリアで競技を終了しなくてははいけません。
また競技残り僅かな周回や最終ラップの場合、競技中のアクシデントによる車両装備品の脱落や不具合が発生したとしてもオレンジボール旗を提示出来ない場合があります。
※大会審査委員の審議とペナルティカタログに準じペナルティを判定します。

6) 競技中に、吸気、排気装置にトラブル・脱落が発生した場合、ただちに安全な場所へ停止するかパドックに入って競技を終了しなくてはなりません。

競技を続行している場合、そのドライバーに黒旗の提示を行い競技を強制終了させます。※ただし、安全上問題がある場合は、その限りではありません

注)安全上問題がある場合、オレンジポール旗で修理させる場合もあります。

7)『黒旗』

悪質または危険、ドライバーマナーやモラルの欠如したルール違反の参加ドライバーに対し提示されます。レースを直ちに終了しなさいという意味で、対象ドライバーはピットイン後に競技長の元に出頭しなければなりません。

8)【イエローフラッグからグリーンフラッグ制導入の実施】

イエローフラッグからの減速、追い越し禁止区間を、イエローフラッグから対象物ではなく、次のポストで提示するグリーンフラッグまでの運営を実施します。各ドライバーは、グリーンフラッグ先から、スピードアップや追い越しができるものとします。

これまで通り、コース上やコース脇で、停止車両や事故が発生している場合、その手前のポストでイエローフラッグが振られます。イエローフラッグから対象車両までがイエローフラッグ区間ではなく、グリーンフラッグを超えるまでが、減速、追い越し禁止区間となります。

注)軽度なスピン程度の場合、グリーンフラッグを出す前に、対象エリアが解除になる場合もあります。

第37条 レースの中断

1)「JAF 国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第9章 第35条「レースの中断」に準じ、赤旗提示の場合ドライバーは直ちに速度を落とし、レースを中断するため追い越しをせず、オフィシャル指示に従い停止できる体制でホームストレート上のスタートライン手前で徐行して停止します。

その場合、センターを空けて危険を回避することに努めてください。

競技長の指示があるまでピットクルーはグリッド上への介入および車両の整備をおこなってはけません。また、工具を用いた修理等は一切禁止されます。

修復が必要になったカートはピットエリアで修理し、レースに復帰できる場合があります。

2) 赤旗によって競技中断となった場合、競技長より指示がない限りメカニック作業(プラグ交換やフロントフェアリングの修正)や給油等はできません。この場合、再スタートの時間を決め作業実施の有無や再スタート出来るカートの確認を行います。

作業を実施する場合基本ピットエリアになりますが、最短時間で再出走出来る場合、コース上での軽作業を認める場合があります。

赤旗後の処置については予選と決勝で裁定が異なりますので、公式通知にて提示します。

第38条 【イエローコーションの実施】

競技中、赤旗提示まではいかないと判断した場合、イエローコーションが発動されます。すべてのフラッグポストからイエローフラッグが振動されると同時に SLOW ボードが提示されコース上はイエローコーションとなります。

この場合、競技走行中の選手はトップを走っているドライバーを先頭に1列の隊列で周回をかさねます。 ※解除されるまで1列の走行が続きます。

また、1列隊列走行中のラップも競技周回数としてカウントされます。場合によっては解除されず、赤旗となる場合や競技終了になる場合もあります。その時点で、規定周回数に達していれば競技終了となります。

ただし、赤旗になった場合は、赤旗の対処になりますのでご注意ください。コーション中の対応は別途コーション通知をホームページにリンクしますので円滑な競技再開に向け参加ドライバーは、ドライバーサイン、スピード調整やリスタートに向けてのルールを覚えるようお願いいたします。

1) 1列隊列走行のスピード目安は、Microクラスが、タコメーター 6000 r p m位とします。その他のクラスは、タコメーター 8000 r p m位とします。前後のカート位置を確認しギャップを空けすぎないように調整してください。

2) 旗の他、イエローランプの点滅も同時に行いドライバーにコーション中であることをアピールします。この時、ピットインは出来ませんがコースに復帰する場合は、必ず最後尾に着くこととします。

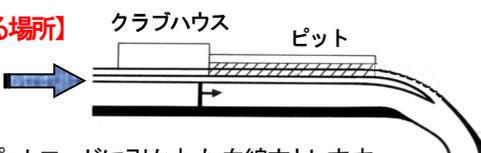
- 3) 競技再開前、先頭のカートからポジション復帰禁止目印のレッドライン手前より、加速が許されます。ただし、1列の隊列はコントロールラインを超えるまで継続し、追い越しは出来ません。コントロールラインを超えてから、競技再開となります。コントロールライン手前から、1列隊列からはみ出し、追い越しを始めた場合、隊列違反ペナルティが課せられます。グリーンフラッグは、先頭のカートが1周するまでコース全ポストで振動され、解除となります。

第39条 ピットクレーおよびピットエリア、パドック

- 1)ピット内およびピット前作業エリア(ピットエリア)で作業できるのは当該クラスに出場しているドライバーと登録されピットクレーのみとします。
- 2)ピットエリアに入れるのは、登録されたピットクレーとドライバーのみとします。また無登録の者がピットエリアで作業すると、違反行為になりピットスルーペナルティが課せられます。

例：ピットエリア【ピット作業ができる場所】

ピットエリアは、図の斜線部分とします



屋根付きピット下前面の指定エリアとピットロードに引かれた白線内とします。ピット作業をエリア外で行うと「ピット外作業」に該当しペナルティの対象となります。

- 3)コース内での回収作業、グリッド上でのスタート補佐などは、登録されたメカニックおよびピットクレーとドライバーのみとします。
- 4)ピットクレーの行為については、「JAF国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定18条」に基づき、ドライバーに直接責任があるものとします。ピットクレーによる規則の違反で、対象ドライバーに黒旗を提示することがあります。
- 5)パドックエリアにおいて火気および発火物の使用は禁止されます。

- 6)ピットロードはスルー通過できません。(ペナルティの対象となります)

- 7)赤旗によって再スタートまでの時間内にメカニック作業や給油を行う場合、競技長の指示の元、必ずピットエリアにおいてのみ、その作業が認められます。

第40条 給油

レース中のピットエリアおよびダミーグリッド、コース上での給油は禁止とします。許可なく給油をした場合、当該ヒートの出走を認めないかレース途中の場合は当該ヒート失格とします。悪質な場合、レース除外とします。赤旗中断等による緊急時、再走行準備のため給油する場合は競技長から許可が出たあとアナウンスによって給油が認められる場合があります。給油が出来る場所はピットエリアのみとなります。

第41条 燃料(ガソリン)の指定と検査

MAX Festival では**指定ガソリンスタンド制を採用します**。大会で指定されたガソリンスタンドにおいて、ガソリンスタンド計量器から販売されている『**一般市販の無鉛ハイオクガソリン**』を使用しなければなりません。

《指定ガソリンスタンド》

(株)西日本宇佐美 旧19号瑞浪SS (ENEOS)
〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町清水 1243
TEL 0572-68-6151

営業時間 月曜～金曜 7:00～21:00 / 土日祝 7:00～20:00

ガソリンスタンド
MAP QRコード



『車検でのガソリン検査について』

車検長の任意により、各ヒート後に使用した燃料(ガソリンや混合オイル含む)の成分検査を行います。

●サンプルガソリンと明らかに色が異なる場合

・車検長判断により当該ヒート失格

→ 次ヒートより、主催者が用意したガソリンとオイルを使い走行となります。

- サンプルガソリンと色は同じだが、判定数値が異なる場合
→次ヒートより、主催者が用意したガソリンとオイルを使い走行となります。



参考例) 混合ガソリンの色違い

左側 … サンプルガソリン

右側 … 指定外ガソリン

注) 主催者が用意したガソリンを使用する場合

車検場へポリミックスを持参し、車検スタッフ立ち合いの元、ガソリンとオイルを受け取り、その場で混合したガソリンを使用して下さい。

※使用したガソリンとオイルの代金は、後日主催者から所属チームを通してご請求させていただきます。

※指定ガソリンの購入は、レースウィーク中のご用意を推奨いたします。

第42条 レース終了

- 1) 決勝ヒート着順1位のドライバーがフィニッシュライン通過後2分以内にカートが同ラインを通過したドライバーに対してチェッカーフラッグが振られます。
- 2) 競技途中、コース上に停止したカートがチェッカーを受けられるのは、1位のカートがチェッカーを受け、2分以内までとします。
- 3) 先頭車両にチェッカーフラッグが提示された時点で、ピットロード出口はクローズとなりピットエリアにとどまっているカートは再度コースインは認められません。
- 4) 車両を押してチェッカーフラッグを受けることは認められません。
- 5) レース終了後のダブルチェッカーは嚴重警告となります。
- 6) 決勝レース、トップでチェッカーを受けた1位のドライバーに対しウイニングランを行う場合があります。 ※詳細は公式プログラムで発表いたします

- 7) レースを終えたカートは、車検場で車両検査をおこない、車両の適合、不適合を競技委員または車検委員が審議し判断します。

第43条 完走

完走とは、チェッカーフラッグに関係なく規定周回数の1/2以上を完了していること。ただし、車両検査で適合しなければなりません。

第44条 順位の設定

レースの順位は次の順序により周回数の多い順に決定されます。

- (1) 完走者(チェッカーを受けたドライバーで車検を通過したドライバー)
- (2) 完走者(チェッカーを受けていないドライバーで、車検を通過したドライバー)
- (3) 不完走者※DNF(完走扱いにはならないが、車検を通過したドライバー)
- (4) 不出走者※DNS(順位はつかず、リザルトには掲載される、出走する意思があったが結果、出走できなかった選手)
- (5) 失格者※DQ(順位はつかず、リザルトには掲載されます)
※上記対象者が複数の場合は、ゼッケン順で並べます。

※ペナルティ対象の選手がDNF選手より順位が下回る場合は、DNF選手を優先とします

第45条 車両保管および公式車両検査

- 1) 「JAF 国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定第3章に基づき、車両検査が行われます。公式車検ではレーシングスーツも車検の対象となります。CIK/JAF 公認実績のあるレーシングスーツの着用が義務付けられます。規則に不適合な部分がありながらも、なお技術委員に発見されなかった場合でも承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合があります。
- 2) 公式車検の日時および場所は公式通知にて通知します。 ※時間厳守
- 3) 各ヒート終了時には必備部品が備わっているものとします。
※必備部品の軽度なズレなどに関しては、車検長の判断になります

- 4) 決勝レース終了後は、指定車両に対し車両保管および再車両検査を行います。
- 5) 車両保管の時間は決勝レース終了後30分以上とし、所定の場所で行われます。保管中は技術委員の指示があるまでは保管カートに一切触れてはなりません。
- 6) 車両保管解除後は、車両をすみやかに引き上げなければなりません。
- 7) 技術委員長は、スタートした全ての車両に対して検査を行なう権限を持ち、技術委員長より検査の指示があった場合は、参加者もしくは登録されたピットクルーが責任を持って、車両やエンジンの分解および組み立てを行うこととします。また、関係役員、エントラントおよびドライバー、登録されたピットクルー以外は検査に立ち会うことはできません。車検対象車両やエンジンの検査終了後は、すみやかにエンジン、部品、工具類など一式を必ず引き上げなくてはなりません。
- 8) 本条項の検査に応じない場合は失格とします。
- 9) 記条項の違反者には、大会競技委員会の決定するペナルティが課せられます。

第3章 ペナルティ[罰則]に関する事項

第46条 ペナルティ

- 1) 2020年 競技規則に基づく危険・反則行為に対しペナルティを課します。ペナルティの判断は競技長や審査委員長(審査委員会含む)によって国内格式競技罰則やフェスティカサーキットグループの罰則(ペナルティカタログ)等の資料に基づき決定されるものとします。
- 2) ドライバーサインを怠ったドライバーやドライバーマナーを厳守していないドライバーに対し注意、警告とする場合があります。
- 3) 競技会中の反則行為について、ドライバーを停止させることなくペナルティを課す場合があります。

第47条 ペナルティポイント

2021年も引き続き『ペナルティポイント制度』を採用いたします。

【目的】

レース中の危険行為、アンフェアな非スポーツマン行為、競技進行を乱す行為、暴力的な行為などを招くドライバーを対象にします。

※エントラントが当該行為を招いた場合もペナルティポイント対象になります。競技中のペナルティに基づき、大会審査委員(スチュワード・ジャッジ員)が判断します。

【ペナルティポイントは、1 から 3ポイントまでとします】

- 1) ペナルティポイントは、**最大12ポイントまで累積**されます
→シーズン中に**12ポイントに達すると、シリーズの出場停止**となります。
- 2) 発生した日から **1年経過するまで失効**されません。
- 3) **参加クラスを変更しても累積**されます。

【ペナルティポイントの他に決勝ヒートで悪質なペナルティを受けた場合】

次戦のグリッドダウンや出場停止も検討されます

【1大会中に3回以上ペナルティを受けたドライバーの場合】

次戦のグリッドダウンや出場停止も検討されます

『例1』 決勝ヒートにおいて、スピードを落とすことなくイエロー無視を行い、他車と接触しフラッグ無視と危険行為のペナルティを受けた…

『例2』 フラッグ無視ペナルティで成績に10秒加算、危険行為も重なり当該ヒート失格になった…

↓

◎スチュワード・ジャッジ員の判断は ⇒ ペナルティポイント3

ここで受けたペナルティポイントは累積され、次戦以降も加算されていきます。
ペナルティポイント表に累積ポイントを記載、大会1週間前に公式通知で発表します。

シーズン途中に制度の変更がある場合、公式通知によってエントラント、参加ドライバー、競技関係者様へお知らせいたします。

第48条 その他一般事項

- 1) 変更事項が生じた場合は公式通知にて通知します。
- 2) 技術委員に承認されたデータロガー(データ蓄積装置)およびタコメーターの使用は可能とします。
ただし、データロガー用のトランスミッター(発信機)の設置場所はコース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとします。
- 3) オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の一部あるいは全部を延期、中止する事ができます。
なおエントラント、ドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を有しません。
さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限もあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。
- 4) パドック、ピット、ピットエリア内での火気の使用は禁止されます。
※施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず後日でも処理していただきます。
- 5) 指定された場所以外での喫煙は禁止されます。
- 6) 使用するピット・パドックは主催者側で指定させていただきます。
- 7) 競技中の電光板表示(タイム・順位)およびレースアナウンスは、サービスとして行っているものであり、競技成績の暫定や正式との食い違いがあったとしても、審査委員会と計時による競技最終結果[リザルト]が優先されます。

第49条 審判員 [競技オフィシャル]

- 1) 「JAF国内競技規則」10-20に基づく審判員の判定は、本大会特別規則を参照に実施します。
- 2) 審判員[競技委員]の氏名は、公式プログラムもしくは、公式通知で示されます。

第4章 抗議、暴力等に関する事項

第50条 抗議

- 1) 「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとします。
 - (1) 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は車両検査後15分以内とします。
 - (2) 競技中の過失または反則に対する抗議はその競技終了後30分以内とします。
 - (3) 競技の成績に関する抗議はその発表後30分以内とします。
- 2) 大会運営役員に対する各抗議はエントラントのみ受け付けるものとし、抗議料は、現金22,000円とします。(JAF国内カート競技規則・付則、カート競技に関する申請・登録等手数料規定に関する第8条に基づく)提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラントおよびドライバーの負担とし、これと反対に、当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられます。
- 3) エントラント及びドライバーの遵守事項
 - (1) エントラントは自己の係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有します。
 - (2) エントラント、ドライバー及びピットクルーは本特別規則の下で開催される競技会中に生じた事態についてコースの所有者、主催者とその関係者及び大会役員に対していかなる責任も追及できません。

- 4) エントラント、ドライバー及びピットクルーは、競技委員やレースジャッジに対し、スポーツマンらしからぬ行為や不謹慎な言葉遣い、暴言、威圧、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とします。※施設退去の場合もあります
- 5) エントラント、ドライバー及びピットクルーによる、競技会場での言葉による脅しや侮辱、威圧、暴力行為をした場合、主催者の判断により当該競技会失格、当施設からの退場、次戦のエントリー拒否等のペナルティを与えることができます。主に、選手に対しての暴力(特に子供へ)選手間同士の暴力は目に余る物がありますので人道的な対応を心よりお願いいたします。
- 6) 主催者や競技委員、選手間に対して、SNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合、競技会の参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。
- 7) 規則の解釈、本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものといたします。

第5章 賞典に関する事項

第51条 賞典と副賞 (各賞典内容は変更になる場合があります)

- 1) 決勝ヒートの順位によって賞典対象を決定します。
- 2) 賞典はドライバーに対して行われます。
- 3) 内容は全クラス、次のように定めます。〔賞典表と公式プログラムで発表〕

〔MAX Festivalの賞典表〕

1位	トロフィーと副賞
2位	トロフィーと副賞
3位	トロフィーと副賞
4位	トロフィーと副賞
5位	トロフィーと副賞

※賞典の対象は、決勝ヒートで完走(完走扱い含む)したドライバーに限ります。
 ※RMCジャパンシリーズポイント賞典表彰は、各クラス別に行います。
 ※変更がある場合は、別紙通知でご案内いたします。

注)賞典の対象は決勝ヒートで完走(完走扱い含む)したドライバーに限ります。

- 4) 各クラスのRMCポイント(栄光で別集計)は、MAX FESTIVAL開催の10月3日で累計期間が終了し、GRAND FINALに招待する選手が決定されます。
また、10月4日以降に、各地域のMAX CHALLENGEシリーズで獲得したRMC]ポイントは、2022年のMAX FESTIVAL開催時まで累積加算されます。
- 5) MAX Festival 開催時に獲得したポイントとRMCランキング集計順位表は、栄光のホームページ <http://www.eikoms.com> にて後日発表いたします。

第52条 ポイントレギュレーション

- 1) 各地域のMAXシリーズに関係なく、各ドライバーが出場したレースに対して、RMCポイントを基準に加算し集計します。
2020年9月5日～2021年9月26日までの大会が対象となり、有効4戦 + MAX Festival の合計5戦のポイントでランキングを決定します。

※このランキングにより、GRAND FINALに参戦する選手が決定されます。

- (1) RMCシリーズ(Max Festival含む)に5大会以上出場した場合、大会毎に2ポイントの出場ボーナスポイントを加えるものとします。
 出場ボーナスポイントは有効ポイント大会にかかわらず4大会分が加算されません。
- (2) 出走台数が10台以上の場合、出走台数ボーナスポイントとして1ポイントを加えるものとします。
 出走台数ボーナスポイントは5大会分を上限とし最大5ポイントとなります。

注)RMCポイントは、各地域の MAXシリーズポイントとは異なります。
 全国のMAX ドライバー年間ランキングを決定するにあたり、独自に集計されます。

2)ポイント付与について（与えられるポイントは次頁の表を適用します）
 プレファイナル、決勝レースの完走者（規定周回数の1/2以上を走行し、車両検査で適合を受けたドライバー）のみに与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられません。

3)獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定いたします。

- (1)上位入賞回数の多い者。
- (2)ポイント、上位入賞回数と同じ場合は、最終戦の成績が上位の者。
- (3)出場回数が多い者。

4)プレファイナル終了後の総合成績によって獲得できるポイント

[MAX Festival プレファイナル終了後の総合成績に付保するRMCポイント表]

通常の1.2倍

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	40.8	11	28.8	21	16.8
2	39.6	12	27.6	22	15.6
3	38.4	13	26.4	23	14.4
4	37.2	14	25.2	24	13.2
5	36	15	24	25	12
6	34.8	16	22.8	26	10.8
7	33.6	17	21.6	27	9.6
8	32.4	18	20.4	28	8.4
9	31.2	19	19.2	29	7.2
10	30	20	18	30	6
				31	4.8
				32	3.6
				33	2.4
				34	1.2

6)本大会以降のMAX CHALLENGEシリーズで獲得したRMCポイントは、2022年のMAX festival開催時まで累積加算されます。

7)MAX Festival開催時に獲得したポイントとRMCランキング集計順位表は、栄光のホームページ <http://www.eikoms.com> にて後日発表いたします。

8)ファイナルの成績によって獲得できるポイント

[MAX Festival 決勝成績に付保するRMCポイント表]

通常の1.2倍

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	66	11	50.4	21	38.4
2	62.4	12	49.2	22	37.2
3	60	13	48	23	36
4	58.8	14	46.8	24	34.8
5	57.6	15	45.6	25	33.6
6	56.4	16	44.4	26	32.4
7	55.2	17	43.2	27	31.2
8	54	18	42	28	30
9	52.8	19	40.8	29	28.8
10	51.6	20	39.6	30	27.6
				31	26.4
				32	25.2
				33	24
				34	22.8

第53条 RMCシリーズポイントの賞典

- 1) MAX Festival 終了時にRMCポイントを集計し、2021年総合ランキングを決定します。各クラス、優勝から10位までを表彰予定とします。
- 2) 賞典; 正賞、記念品の贈呈に関しましては、イベントプロモーター 株式会社 栄光より、決勝成績の発表後、表彰式を行います。

第6章 広告に関する事項

第54条 競技と広告について

- 1) ナンバープレートに広告を表示することは認められません。
- 2) 広告(スポンサーステッカー、協賛等のロゴ)については車両検査までに取り付けてください。
- 3) オーガナイザーは次の者に対し抹消する権限を有しドライバーはこれを否定することはできません。
 - (1) 公序良俗に反するもの
 - (2) 政治、宗教に関連したもの
 - (3) 本競技会と関係するスポンサーと競合するもの

第55条 肖像権および個人情報に関する事項

- 1) 肖像権
主催者、共催者、およびこれらの指定した第三者は、参加者の写真その他の肖像、参加車両の写真、デジタル画像、音声、映像等を Web-site、報道、放送、出版等に用いることができます。
- 2) 個人情報
レース並びに共催者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、レースイベント参加者の個人的情報を、下記業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。

【業務内容】

レースイベントの受付、レースイベントのプログラム作成、レースイベントの状況撮影、レースイベントのリザルト(成績表)作成、保険加入有無の確認、その他、レースイベントを円滑に行うことができる業務およびこれらに付随する業務。

【利用目的】

- 1) レースイベント事務手続きを行うため
- 2) レースイベント参加者の個人成績を公表するため
- 3) レースイベント内容を、ホームページやその他の SNS で情報を公開するため
- 4) レースイベントの状況動画や画像配信をおこなうため
- 5) レースイベント中に事故があった場合、関係各所にて保険処理をおこなうため

第7章 その他に関する事項

第56条 損害補償

1. すべての参加者は、自己の過失により、施設の器材、計測器等、その他諸々に損害を与えた場合は、その損害について責任を負うこととします。
2. 主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバーおよびピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、共済、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとします。

第57条 本規則書の解釈

本規則書ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、審査委員会の決定を最終的なものとみなします。

第58条 本規則書に記載されていない事項

本規則書に記載されていない事項は、2021 FIA(国際自動車連盟)の国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠した2021年 JAF(日本自動車連盟)国内競技規則とJAF国内カート競技規則、2021年 本大会特別規則書とその車両規定、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 MAXの車両規定に準拠します。

第8章 カートに関する事項

第59条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録関連

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、次の個数が登録できます。

対象クラス	シャシー	エンジン	タイヤ
Micro MAX クラス	1台	2基	ドライ 1セット ウェット 1セット
Mini MAX クラス			
Junior MAX クラス			
MAX Masters クラス			
Senior MAX クラス			

第60条 エンジン登録とエンジン交換規定

- 1) 全クラス、規定に合致する仕様のエンジンを2基まで登録することが可能です。
- 2) 公式練習後やその他のヒート後にエンジン交換が生じた場合、登録内のエンジンに交換が可能です。
- 3) エンジンを1基しか登録していなかった場合、公式練習、タイムトライアル、予選、グループ戦やプレファイナル等の後にエンジン交換が生じエンジンを追加登録する場合は、技術委員に確認立ち合いのもと大会審査委員会の承認を得てエンジン交換書面提出後、別なエンジンを1大会1回のみ追加することが可能です。この場合、次のヒートのグリッドは最後尾スタートとなります。
- 4) 追加エンジン登録を車検後にした場合、公式練習後の次ヒートグリッド最後尾というペナルティはタイムトライアルには出走出来ますが、エンジン交換した選手の

タイムリザルトは反映されることはなくノータイムとなり予選ヒートのグリッドは最後尾スタートになります。

- 5) 車検後に登録したいエンジンを追加する事務手数料は、5,000円とします。料金を事務局に支払い、エンジン追加登録の手続きを事務局で行ってください
- 6) 登録済のエンジンが2基とも破損した場合、登録外のエンジンを1基追加登録し使用することを認めます。ただし、下記の要項を満たすこととします。
 - 1、車検長が、2基とも破損状態で使用不能と判断した場合
 - 2、エンジン交換書面提出し、大会審査委員会の承認を得ること
 - 3、その後の出走予定ヒートに間に合うよう作業が出来ること
 - 4、エンジンを追加する事務手数料、5,000円を事務局に支払うこと
 - 5、出走予定ヒートのグリッドは、最後尾ということを了承すること
- 7) エンジンはシェアすることが認められます。ただし、エンジンシェアに関しては双方のドライバーまたはチームが車両申告書にシェアすることを記入しなくてはなりません。
- 8) エンジン検査対象となるドライバーが、交換したエンジンまたはシェアエンジンでレースを終了した場合、交換した登録エンジン、シェアエンジン、使用部品すべてが車検対象となります
- 9) エンジン交換によって、最後尾スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートは、エンジン交換申請書提出順にグリッドを決定します。
- 10) エンジンの交換申請書提出は、次出走ヒートのスタート20分前までとします。

第61条 カート

カート車両は本特別規則書技術規定に合致した車両であることとします。

注) リブレ申請車両: MAX Masters、『制限付き格式』において条件付きドライバーが使用する車両には、ハンドアクセル、ハンドブレーキ装置が搭載され、その装置はしっかり固定され、円滑、安全に機能しなくてはなりません。

事前検査において万が一不具合があった場合は速やかに修復するか、または交換が必要となります。

指摘された不具合が修復できない場合は競技に参加できません。

第62条 シャシー規定

1) 2クラス以上のクラスに参加する場合、登録した1台のシャシーに、エンジンを載せ替えて参加することは出来ません。

その場合、各クラス用に使用するシャシーを準備してください。

2) 競技中の事故等によって登録したシャシーが使用不能になった場合に限り、未登録のシャシーに交換し次のヒートに参加することが出来ます。

ただし、下記の要項を満たすこととします。

①車検長が走行不能または、修理不能と判定した場合

②次の出走予定ヒートに間に合う場合

※出走時間に遅延した場合、参加は認められず、DNSとなります

③シャシー交換申請手数料『5,000円』を事務局に支払っていただきます

第63条 タイヤ

<各クラス共通事項>

1) 参加者は事前にレース登録タイヤ(ドライタイヤ・ウエットタイヤ)の両側面にゼッケンを記入して下さい。(文字色は主催者が決定)

2) 公式練習中のタイヤ交換は認められます。(Micro / Mini クラスを除く)

3) 各クラスの指定タイヤに刻印されている回転方向(ローテーション)は、装着時にすべて同じ回転方向を向いた状態で組付けされていなければなりません。この回転方向を間違えて使用した場合、ペナルティとなります。

『注意』 ローテーション規定は公式練習から適用となります。

違反の場合、当該ヒートもしくは次ヒートのタイム加算ペナルティとなります。

4) レース登録タイヤでタイムトライアルに出走して下さい。タイムトライアル終了後、車検上にて車検員によりタイヤ封印を行います。

封印後のタイヤは、下記の 9) の事項以外、交換できません。

5) 公式練習とタイムトライアルを連動して行う場合、レース登録タイヤを公式練習から使用する場合があります。

6) レース当日の路面コンディションが微妙で、ドライかウエットタイヤを使用するか判断に迷う場合、その判断をエントラント及びドライバーに任せる場合があります。また間違いなくウエットタイヤを使用する路面コンディションの場合は、イコールコンディションを保つためにタイヤコントロールする場合があります。

7) レース登録タイヤへの溶剤塗布、加工、表面を工具などによる削る行為などは禁止されます。その行為が発覚した場合、当該レースから除外されます。

8) レース中、器具や暖房機によってレース登録タイヤを故意に温めることは禁止されます。発覚した場合には、ペナルティが課せられます。

ペナルティの内容は、2021ペナルティカタログを参照してください。

9) 不慮のトラブル(バースト、タイヤの不具合)の場合、技術委員長の承認のもと1本のみ交換が認められます。※交換するタイヤは中古の同等品とします。

【ウエットタイヤ注意事項】・・・使用できるウエットタイヤは1セットです

ただし、路面コンディションの著しい変化によって、使用していたウエットタイヤの性能が安全を確保できない場合、審査委員会が判断し、全員がもう1セット使用できることがあります。

<Micro / Mini クラス適用事項>

1) 必ず出走前にレース登録タイヤ(ドライタイヤまたはウエットタイヤ)の両側面へ、指定の文字色でゼッケンを記入してください。

2) 公式練習から、レース登録タイヤを使用してください。

3) 公式練習とタイムトライアルを連動して行う場合も、レース登録タイヤを使用してください。

4) タイムトライアル終了後、車検場にて車検委員によりタイヤ封印を行います。封印後のタイヤは、<全クラス共通事項> 9) の事項以外、交換できません。

※レース当日の路面がウエットコンディションの時、安全を考慮して全車ウエットタイヤを使用するよう、タイヤコントロールを行う場合があります。

第64条 最低重量

最低重量は以下の通りとします。

クラス	最低重量
Micro MAX	110kg
Mini MAX	120kg
Junior MAX	145kg
MAX Masters,	165kg
Senior MAX	160kg

【重量規定調整用ウエイトに関して】

最低重量を満たすためにウエイトを取り付ける場合、ウエイトは全て固形の材料を用い直径最小6mm以上、少なくとも2本のボルト用いてシャシーまたはシートに取り付けてください。

※ただし1Kg以下のウエイトで、取付穴が1か所しかない場合は、直径最小8mm以上のボルトで固定してください。取り付け方法が危険な場合、そのカートの所有者またはドライバーに対して、取り外しまたは、再固定を命じる場合があります。

第65条 インテークサイレンサー

ROTAX MAX Challenge 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations2021、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Technical Regulations2021を参照し、合致したモデルを使用してください。

またインテークサイレンサーの空気取り入れ口付近に、空気の流れを変える装置や整流板、導風板等を取り付けることは禁止されます。

それに類する装着物が発見された場合は取り外しが命ぜられます。

ウエットコンディションで、吸気口の雨カバーやインテークサイレンサー周辺の雨進入防止板を装着する場合ウエットタイヤ装着時限定となります。

ウエットタイヤを装着していない時に同様のものが車体に取り付けられていたことが判明した場合、車両不具合となり車両違反の対象となります

第66条 外装品・タイヤ位置規定

前後輪ともカウル等の外装品とリアプロテクション(過去に公認取得済みのものに関しても使用可能)の装着を義務付けます。

またタイヤ位置は、ドライ・ウエットを問わず、前後輪ともカウル外装品とリアプロテクションの一番外側から1mm以上外にでていることとします。

第67条 フロントフェアリング規定

車両に取り付けるフロントフェアリングは、CIK 公認 2015-2020/2018-2020 のタイプのみとなります。

取り付ける際の加工や改造は禁止されます。

第68条 フロントフェアリング位置規定

指定のフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合、タイム加算ペナルティになります。違反寸法、加工取り付けのないように装着してください。

ROTAX MAX SERIES ではフェアリングペナルティの判定を次の通りとします。

①競技中の接触による脱落や正しい装着位置からのずれが発生した場合

2021フェスティカグループペナルティカタログに沿ってタイムペナルティを加算

注;起因に関係なく、対象車両はすべてペナルティとなります。

例:スタート前に何かの接触によってフェアリング取り付け位置が規定よりずれた...パルクフェルメ進入時に前車に接触でずれた...などでも対象です。

競技終了後のパルクフェルメにて、競技委員とドライバーにて確認後に決定します。ドライバーは指示が出るまで、カートから降りることはできません。

②原因が、プッシングや幅寄せ等のドライバー危険行為が要因だった場合

違反行為の度合いによって決定されます

※1ヒート内で、①、②同時に発生した場合は、**合計のタイム加算**となります。悪質かつ危険な行為があった場合は、当該ヒート失格となる場合もあります。

③正規の位置からずれたフロントフェアリングを修正した場合（例）

注1:走行中に足などを使い、位置を修正しようとする行為

注2:停止した際に、位置を修正しようとする行為

注3:パルクフェルメで、位置を修正しようとする行為

※参加ドライバー自身、メカニック(ピットクルー)、チーム員など、誰でも故意に位置を修正すれば、その車両のドライバーは競技から失格となり参加していた競技から除外され、成績は抹消されます。

④フロントフェアリング及びブラケット、クランプの加工、改造禁止について 車両検査において、フロントフェアリング及びブラケット、クランプへのフロントフェアリングが脱落しにくくなる加工や改造、著しい破損(亀裂等)が見られると車検長が判断した場合には、フロントフェアリングペナルティの対象となります。

次ヒートからそのフェアリングを使用することは出来ず、別の物へ交換していただきます。

※詳細な判断基準は2021フェスティカグループペナルティカタログを参照して下さい

第69条 ブレーキ

フットペダルによって両方のリアホイールに同時かつ有効に作動しなければなりません。RMC シリーズ各クラスにおいて、フロントブレーキ付きシャシーの使用を禁止します。

※フロントハンドブレーキは、主催者が認めた者のみ使用許可します。

ただし、一般市販品や純正品に限ります

第70条 ブレーキダクト装着の許可

ブレーキダクトの装着はシャシーのブレーキ側に1本のみとし、ダクトに使用出来る材質は柔軟で割れにくいプラスチック素材または、アルミ製の方向が変えられるジャバラ状の筒で、空気の吸気部が丸形状のものは円周、四角のものは四辺で計測し60cm以内とします。

空気通路部分は円周・四辺で計測し30cm以内とします。

※取り付け方法、使用許可品はJAF規則に準じます。

第71条 ネットガードおよびリブプロテクター

Micro MAX、Mini MAX、Junior MAX および12歳以下(小学生)のドライバーは、ネットガードとリブプロテクターを必備とします。中学生以上のドライバーは、ネットガードおよびリブプロテクターの装着を強く推奨します。

第72条 ラジエーター

- 1) 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2021、ROTAX MAX CHALLENGE Technical Regulations 2021を参照し、合致したモデルを使用してください。
- 2) シャッターカバー(温度調整用カバー)の取り付けは認められます。但し、MAX純正品に限られ、強固に固定されていることとします。装着状態は車検員に確認され、不具合がある場合は再度、取り付け方法を指示される場合や取り外しを指摘されることがあります。
- 3) 冷却水は水のみとし、不凍液やそれに相当する液体の使用は認められません。
- 4) 純正品のシャッターカバー以外でラジエーターの冷却調整をする場合、ガムテープのみ使用を認めます。この場合、ラジエーターに対して1周巻き以上に貼り付け、はがれることのないようにしてください。

第73条 テレコミュニケーション

コース上のドライバーとそれ以外の者との間で連絡ができるテレコミュニケーション(遠隔通話装置、無線装置など)の使用は、公式練習から決勝ヒートまで禁止となります。

この事項に対する抗議は一切受け付けられません。

第74条 空力装置、補強部品、安全ガード、一般市販オプション品

※取り付け方法、使用許可品は、2021年 JAF規則に準じます。

第9章 クラス別規定

第75条 クラス別規定

[カテゴリ名称 ; Micro MAX クラス]

エンジン : ROTAX FR125MAX JR(Junior MAX)とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。

補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

ドライホイールサイズ: フロント130mm幅以下、リア/150mm幅以下 公差+2mm

ウエットホイールサイズ: フロント130mm幅以下、リア/180mm幅以下 公差+2mm

【ギア指定】 天候に限らず、下記のギア数を使用することとします

1 5丁×7 0 / 7 1 / 7 2 / 7 3 丁

※ギア指定の規則に変更が生じた場合は、公式通知にて発表いたします。

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 Micro MAX と、2021 年 瑞浪特別規則書に準じます。

[カテゴリ名称 ; Mini MAX クラス]

エンジン : ROTAX FR125MAX JR(Junior MAX)とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。

補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 MINI MAX と、2021 年 瑞浪特別規則書に準じます。

[カテゴリ名称 ; Junior MAX、MAX Masters、Senior MAX]

- 1) エンジン : ROTAX FR125MAX (Senior MAX, MAX Masters)、ROTAX FR125MAX JR (Junior MAX)とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。
- 2) 使用するパーツは純正品に限ります。ただし、以下の変更は認められます。

① ベースガスケット : 使用数およびサイズは自由とします。

② スキツシュ : 最小値 1. 00mm

【 MAX Masters、Senior MAX 】

スキツシュ : 最小値 1. 20mm

【 Junior MAX 】

- ③ インテークサイレンサー : 純正品 Version2 の本体を使用すること。中に装着するエアフィルターは、ROTAX 純正の、1層構造の黒色、2層構造の緑/オレンジ、2層構造の緑/濃い緑“Twin Air” の3種類いずれかを使用すること。※ただし、エアフィルターの加工、改造は禁止されます。

- 3) バッテリー : 使用可能なバッテリーは、[栄光ホームページから 2021RMC 規則内 Technical Regulations](#) バッテリー規定を参照してください。

- 4) キャブレター : 純正品のデロルトキャブレターVHSB34XSとし無改造とします。

- 5) マフラー : 純正品を使用し、消音装置の消音部材のみ交換する以外改造は認められません。

- 6) ラジエター : 純正品とし無改造とします。取り付け位置もメーカー指定の通りとします。

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 MAXと、2021 年 瑞浪特別規則書に準じます。

第76条 グランドファイナルに関する事項

グランドファイナルに出場予定の選手は、国際ライセンスを所持していること。
申請が必要な方は、**2021年10月**のフェスティバル終了以降に、国際ライセンスを申請できる条件を満たしていること。
各選手、エントラントにおいて準備をして申請をお願いします。

グランドファイナル出場可能年齢は、**2021年1月1日～12月31日**に、以下の年齢でなければなりません。

Micro : 8～11歳、Mini : 10～13歳

Junior : 12～14歳、Masters : 32歳～、Senior : 14歳～

本文に記載ない詳細は、2021 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES規定に準じます。

※Grand Final 第22回大会は、2021年12月11日(土)～12月18日(土)、10年ぶりの中東 バーレーンで開催されます。

Microクラスに1名、Miniクラスに3名、Juniorクラスに2名、Seniorクラスに3名、DD2Mastersクラスに1名の招待枠、前回を超える結果を残すことが出来るでしょうか。



ROTAX[®] RACING

FESTiKa CIRCUIT MIZUNAMI



2021年 MAX Festival 車両規定表

	Micro	Mini	Junior	Masters	Senior
シャシー	※注1 参照 全長950MM以下	※注1 参照 全長950MM以下	※注1 参照	※注1 参照	※注1 参照
エンジン	125 Micro Max EVO	125 Mini Max EVO	125 Junior Max	125 Max	125 Max
キャブレター	デロルト XS				
プラグ	NGK GR8DI-8	NGK GR8DI-8	NGK GR8DI-8、GR9DI-8	NGK GR8DI-8、GR9DI-8	NGK GR8DI-8、GR9DI-8
オイル	XPS	XPS	XPS	XPS	XPS
ドライタイヤ	YH AD-J (ADJ)	YH AD-J (ADJ)	MOJO D2 (4.5/7.1)	MOJO D5 (4.5/7.1)	MOJO D5 (4.5/7.1)
ウエットタイヤ (注3)	MOJO W5 (4.5/6.0)				
最低重量	110kg	120kg	145kg	165kg	160kg
参加年齢 (注2)	小学1年生～中学1年生	小学4年生～中学2年生	小学6年生～17歳	25歳～	14歳～

注1: JAF 国内カート競技車両規則に合致する第1種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限りです。(シャシー改造や加工は禁止) 一般市販品の保護プロテクター装着可詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 と、2021 瑞浪特別規則書に準じます。

注2: 表に記載されている学年、年齢は当該年度として扱います。Microクラスに参加する1年生は、参加資格を満たしている者に限られます。

第77条 緊急医療機関に関して

本大会において、緊急時の搬送指定病院を以下の通りとします。

緊急指定病院 < 土岐市立総合病院 >
〒509-5193 岐阜県土岐市土岐津町土岐口703番地の24
TEL:0572-55-2111(代表)



保険事項に該当しない不具廃疾については、保険加入者の職業、年齢、身分、性別等に関係なく身体の完全に棄損された程度に応じてかつ上記各号の区分に準じて50%以内で保険金が支払われる補償がある保険会社に加入してください。
RMCクラス、他のクラスでも、SLカートミーティングを開催しているJKLA公認コースであれば、レース中の事故保障は受けられます。

第10章 傷害保険

ドライバー傷害保険

競技に参加する者は、JAF国内カート競技規則 第11章第34条に定める傷害保険に、加入しなくてはなりません。〔2013年より加入が必要になりました〕

※SLスポーツ安全保険加入が義務付けられます。

注) その他一般の傷害保険加入でも、保障の適用が証明されれば可。

1. 保険金の補償額に関する事項

ドライバーは、死亡・後遺症傷害保障 1,000万円以上の保障額があること。

ピットクルー・メカニックは死亡・後遺症傷害保障 500万円以上の保障額がある保険加入が推奨となります。

※走行していないピットクルー・メカニックはレースイベント主催者[オーガナイザー]が付保する施設入場者保険でカバーできる場合があります。

またドライバーは、入院保障額4,000円/日以上、通院保障額1,500円/日以上を確約できる保険であることとなります。

ご不明な点に関しては、レースイベント主催者[オーガナイザー]までお問い合わせください。

2. 保険保証内容に関する事項

一般の損害保険に加入している場合は契約約款を確認し保険の支払い対象を必ず確認してください。

SLスポーツ安全保険は、被保険者(補償の対象となる加入者)が日本国内で団体の活動中および活動に

行くまでの自宅との往復中に、急激で偶然な事故により被った被害(日射・熱射病および細菌性・ウイルス性食中毒等含む)による死亡、後遺障害、入院、通院、手術費用などを補償します。

1 死亡事故

通常、事故の日から当日を含め、180日以内に死亡した場合、保険金額全額(普通条件)が支払われます。

2 後遺障害事故

事故の日から当日を含め、180日以内に身体の一部をなくしたり、その機能を奪われた後遺障害は、その程度に応じて保険金額(普通条件)が下記割合で支払われます。

- (1) 終身、自由を行うことが出来ない場合・・・・・・・・・・100%
- (2) 両方の目が見えなくなった場合・・・・・・・・・・100%
- (3) 腕または足(関節より上部)をなくした場合・・・・・・・・・・60%
- (4) 両方の耳が聞こえなくなった場合・・・・・・・・・・80%
- (5) そしゃくまたは言語の機能をなくした場合・・・・・・・・・・100%
- (6) 片方の目が見えなくなった場合・・・・・・・・・・60%
- (7) 片方の耳が聞こえなくなった場合・・・・・・・・・・30%
- (8) 片方の耳をなくした場合・・・・・・・・・・3%~10%
- (9) 片方の手の親指(関節より上部)をなくした場合・・・・・・・・・・20%
- (10) 鼻をなくした場合・・・・・・・・・・3%~35%
- (11) 足の親指をなくした場合・・・・・・・・・・10%
- (12) 親指・人差し指以外の手の指1本をなくした場合・・・・・・・・・・10%
- (13) 親指・人差し指以外の足の指1本をなくした場合・・・・・・・・・・5%

※上記各号に該当しない不具廃疾については、保険加入者の職業、年齢、身分、性別等に関係なく身体の完全に棄損された程度に応じてかつ上記各号の区分に準じて50%以内で保険金が支払われる補償がある保険会社に加入してください。

3 傷害を被った入院・通院保険金(普通条件)

損害の結果として平常の業務をきたし、しかも医師の治療を要する場合、平常の業務に従事することができるようになるまで、1日について入院の場合4,000円(180日程度)、通院の場合1,500円(90日程度)が支払われる補償がある保険会社に加入してください。

4 賠償責任保険(一般の損害保険に加入した場合)

賠償保険金が支払われる場合、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負うことによって被った損害を補償する保険です。

※加入時に必ず確認してください

5 その他の規定

- (1) 傷害保険または、賠償責任保険の支払は、通常180日で仕切られます。
- (2) 事故による傷害について不具廃疾保険と重複して支払われる場合は、その合算金額が支払われます。
- (3) 健康保険・労災保険、その他の給付には関係なく、保険金は支払われます。
- (4) 他の損害保険会社とSLスポーツ安全保険の両方に加入していた場合、両方の保険会社に請求することが可能です。

6 保険請求についての必要書類

- (1) ケガの程度を証明する所定の医師の診断書
- (2) 全治したときの医師の治療証明書・・・・・・・・・・傷害事故の場合
- (3) 死亡診断書および戸籍謄本・・・・・・・・・・死亡事故の場合
- (4) 施設または主催責任者の事故確認書・・・・・・・・・・傷害・死亡事故の場合
- (5) 各保険会社による指定報告書類、請求書類など多数・傷害・死亡事故の場合

7 保険請求一般的に保険金が支払われない場合

※次にあげるものには、保険金は支払われません。

- 1、被保険者や保険金受け取り人の故意または重大な過失
- 2、被保険者の自殺行為、犯罪行為、無資格運転、酒酔い運転による事故
- 3、被保険者の脳疾患、疾病(心臓疾患などを含む)、心神喪失による事故
- 4、被保険者の妊娠、出産、流産、外科的手術、その他の医療処置
※保険金の支払い対象となる傷害を治療する場合は除きます
- 5、むちうち、腰痛、椎間板ヘルニア、野球肩、テニスひじ、疲労骨折、関節ねずみ、タナ障害、オスグッド病、などの持病や医学的他覚所見のない症状、靴ずれ、その他の急激、偶然、外来の要件を満たさないスポーツ特有の障害、成長痛、加齢に伴う変形性関節症、変形性腰椎症など
- 6、地震、噴火、津波、戦争、その他の変乱(テロ行為によるケガは対象となります)でのケガ、放射線の汚染などによる人体被害
- 7、急性心不全、脳内出血、血管疾患、その他の突然死(共済見舞金の対象となります)